

## 平成30年度 神奈川県立病院ヒヤリ・ハット事例及び アクシデントの公表について

神奈川県立病院では、医療の透明性を高め、県民の皆様との信頼関係を築くことはもとより、医療事故のさらなる未然防止を図るため、毎年度ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント並びにアクシデント防止対策を公表しています。

このたび、平成30年度の状況について取りまとめましたので、公表します。

### 1 ヒヤリ・ハット事例 <sup>(※1)</sup> 件数 (件)

レベル	神奈川県立病院
0	213
1	755
2	27
3a	8
計	1003

※1 ヒヤリ・ハット事例とは、日常診療の場で、患者に医療又は管理を行う上で、「ヒヤリ」としたり「ハッ」とした経験を有する事例（災害等に起因するものを除く）で、アクシデントに至らなかったものをいいます。

### 2 アクシデント <sup>(※2)</sup> 件数 (件)

レベル	神奈川県立病院
3b	0
4	0
5	0
計	0

※2 アクシデントとは、医療に関わる場所で実施された医療又は管理により、予期せず患者が死亡し、若しくは患者に心身の障害が残った事例又は予期しなかった処置その他の治療を要した事例（災害等に起因するものを除く）をいいます。

### (参考) 前年度比較

(件)

	レベル	平成29年度	平成30年度	前年度増減
ヒヤリ・ハット事例	0	140	213	73
	1	625	755	130
	2	18	27	9
	3 a	3	8	5
	計	786	1003	217

(件)

	レベル	平成29年度	平成30年度	前年度増減
アクシデント	3 b	0	0	-
	4	0	0	-
	5	0	0	-
	計	0	0	-

### 3 分析および医療安全対策（病院の特性に応じた取組）

病院では診療の内容や患者の状況に応じて、きめ細かな医療安全対策を実施しています。平成30年度の代表的な事例は次のとおりです。

#### 病院における分析および医療安全対策の取組事例

取組内容
<p>入院患者が瀕院して所在不明となり、搜索した事例について臨時拡大医療安全管理会議を開催し、夜間帯における患者把握の実情を把握し今後の対応について検討した。特に病棟の消灯時間に確実な患者確認を行うことを周知徹底するとともに、患者不明の報告から本部立ち上げ・搜索範囲の決定・搜索指示などの体制について再確認および検討した。また、付き添いの必要な患者について職員間の認識の違いが明らかになったため、病院としてのルールを明確にし、統一した認識で対応できるよう周知した。</p>

### 4 ヒヤリ・ハット事例及びアクシデントの分類レベル指標

	区分	内 容
ヒヤリ・ハット事例	レベル0	間違ったことが発生したが、患者には <b>実施されなかった</b> 場合
	レベル1	間違ったことを実施したが、患者には <b>変化が生じなかった</b> 場合
	レベル2	実施された医療又は管理により、患者に予期しなかった影響を与えた可能性があり、 <b>観察の強化や検査</b> の必要性が生じた場合
	レベル3	a
b		実施された医療又は管理により、患者に予期しなかった若しくは予期していたものを上回る何らかの変化が生じ、 <b>濃厚な処置・治療（※4）</b> の必要性が生じた場合
アクシデント	レベル4	実施された医療又は管理により、患者の生活に影響する予期しなかった若しくは予期していたものを上回る高度の <b>後遺症</b> が残る可能性が生じた場合
	レベル5	実施された医療又は管理により、予期せず患者が <b>死亡</b> した場合

※3 薬剤投与等の保存的治療

※4 バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術等

## 5 公表基準

区 分		公表基準	
ヒヤリ・ハット事例	レベル0	一 括 公 表	個 別 公 表  死亡事例などの重大な案件や、個別公表を実施することで、再発防止に寄与する対策等の推進につながる事例 (レベルにこだわらない)
	レベル1		
	レベル2		
レベル3	a		
	b		
アクシデント	レベル4		
	レベル5		

※医療事故に関しては、医療事故調査制度ガイドライン等の趣旨を踏まえ、上記に準じて扱う。

(問い合わせ先)

社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団  
 神奈川リハビリテーション病院 事務部長 小松 一則

電話 046-249-2253

ファクシミリ 046-249-2502